

ウチヤマタイムズ

6
No.137

発行所：(株)ウチヤマホールディングス／発行日：平成25年6月20日／編集：嶋井太郎・岡田直紀・八尋有紀・小橋佳絵里
監修：内山文治・吉岡信之／お問い合わせ先：093-551-0002 北九州市小倉北区熊本2-10-10

ウチヤマホールディングス
UCHIYAMA HOLDINGS
JASDAQ
証券コード：6059

さわやか俱楽部

二施設同時オープン!!

平成二十五年六月一日に、さわやか俱楽部の新たな介護施設が北九州市内で二か所同時に開所となりました。どちらもグループホーム(定員十八名)と小規模多機能型居宅介護(登録定員二十五名)の複合型施設です。



さわやか
グループホームせいのう
【ホーム長】高尾 清美



さわやか
小規模多機能清納館
【センター長】前田 紗



さわやか
グループホームなかばる

【ホーム長】吉村眞理子



【さわやかグループホームせいのう】
【さわやか小規模多機能清納館】

JR鹿児島本線黒崎駅から車で約七分、福岡北九州都市高速道路「黒崎IC」より約十分の場所に位置しています。河頭山のふもとで桜の綺麗な河頭山公園が近くにあり、自然豊かで閑静な住宅街に位置した三階建ての施設になります。太宰府に通じる「菅道の跡」と云われた道が住宅地の間に残っている他、馬塚(荒馬大明神)や猿田彦大神を始め数多くの史跡がある地域です。施設一階部分には炭酸泉の足湯を設置している「地域交流スペース」も設けてあり、地域の方々にとって「ミニユーティスペースとしての役割を担つ環境を整えています。

グループホームは、介護保険サービスを利用しながら、利用者様自身が有する能力を發揮し、また役割をもつことで、生活意欲が高まり、自立した生活が送れる場です。私たちスタッフ一同、このグループホームが利用者様にどうして“住み慣れた場所”となれるよう支援させて頂きます。

小規模多機能では、皆様の多様なニーズに対応できる「地域密着型介護支援」を行っております。馴染みのある環境で、その方らしい生活が生き甲斐を持つて継続できるように、職員一同力を合わせて取り組みサービス提供を目指します。



戸畠祇園山笠で賑わう人情味あふれる戸畠に誕生しました。入居者様、利用者様がホソとできる家庭的な雰囲気を持つ施設になるよう、職員一同精一杯、笑顔のおもてなしをさせて頂きます。

地域に根差した仕事につけて喜びを、戸畠の地元の方々に還元できるよう、地域交流から始めさせて頂きます。どんなことでも、喜んでお引き受け致します。介護の事で困った事があれば、何でもご相談下さい。



さわやか
グループホームなかばる
【ホーム長】吉村眞理子



【さわやか小規模多機能中原館】
高齢者を地域で支える入居施設として、また住み慣れた自宅で暮らし続けたいと思われている高齢者を家族や職員、地域の方々が一緒になって支える小規模多機能型居宅介護事業所として、総合的な介護サービスを提供します。



さわやか
小規模多機能中原館
【センター長】三木 洋子



小規模多機能型居宅介護施設とは…

従来の「デイサービス」「ショートステイ」「ホームヘルプサービス」という3つのサービスを、1つの事業所でそれぞれ「通い」「泊まり」「訪問」として行うことが出来るところに特徴があり、環境が変わらずに日頃のなじみの職員が関わることで、認知症ケアとしても優れています。



開店前のお祈り



あっけらかん天神店 リニューアルオープン!!

ボナーでは、福岡市中央区の居酒屋『あっけらかん』を全面改装し、5月29日にリニューアルオープンしました。同じく福岡市内で今年の2月にリニューアルした『大名ぎょうれつ』と同様に、カウンター席以外は全席完全個室タイプとなり、様々な用途に合わせてご利用頂けます。2時間食べ飲み放題で男性2980円、女性2680円というリーズナブルな料金に加え、以前から人気のあったカラオケ付の個室も完備しており、再オープン以来多くのお客様でにぎわっています。

外井高明店長ごあいさつ

天神の真ん中で若年層のご利用が多い地域ですが、社会人層のお客様やご家族でのご利用のお客様も徐々に増えてきております。「笑顔・元気・感謝」をモットーとして、いつも笑顔と活気の溢れる店づくりをスタッフ全員で行って参ります。



サントリー・ビール工場研修

今年もサントリーの熊本工場にて、ボナーのカラオケ、飲食部門の社員を対象に、ビール工場研修が行われました。今年入社した新入社員を中心に、41名の社員が参加し、サントリーの主力商品となっている「ザ・プレミアム・モルツ」の製造工程を見学しながら、生産に関わるサントリーの方々の想いや、店舗で美味しいビールを提供するためのコツを伝授して頂きました。研修終了後には、工場内にあるレストランでできたての美味しいビールを飲みながら、社員同士の懇親を兼ねた食事会が行われました。



歓迎!! はなわさん御一行

佐賀県出身のタレント、はなわさんが出演するRKBのテレビ番組「すまいる大御殿」のロケがコロッケ倶楽部の佐賀駅前店にて行われ、はなわさんと出演者の方々が来店されました。はなわさんがプロデュースしているアイドルユニット「風男塾」の候補生・宮地佑希子さん(左)も来店し、カラオケを楽しめている様子が5月14日の深夜に放送されました。撮影の終了時には、出演者の皆さんから快くサインと写真を頂きました。

スイーツフェア&冷麺

おいしいメニューが盛り沢山!みんなでコロッケ倶楽部へGO!!



夏季限定
9月末まで

夏メニュー
始めました!



冷やし坦々麺 (ちょい辛)	550円
冷やしジャージャー麺	550円
冷やし中華 (ゴマorレモン)	590円

キラリ! 等星 輝くスタッフをご紹介します

STAR
No.66



さわやかいそだ館／施設長
よしだひろかつ
吉田 広勝さん 63歳

ハートフル
ストーリー

親が教えてあげる大切なこと

／自立心を育てる／

「ああ、よしよし」より、「できること」は自分でしなさい」と教える。
そこから、「自立した心」が育まれてくるのです。

家庭の教育、子供の教育にも一つの道がある。その道に沿った教育に成功しなくてはならんという感じがいたします。

ある二つの家庭では、子どもがお母さんに、「お母さん、それちょっと取つてちょうだい」「ああ、よしよし」と言って取つておられる。これも悪いとはいません。

しかしある家庭では、「お母さん、それちょっと取つてちょうだい」「あなたはもう大きくなつたんやから、そういうことは自分でするんですよ。あなたのできないことは、お母さんがしてあげますから言いなさい。こういうことはあんた自身でやるんですよ。また、お母さんだけやなく、人に頼んでもいけませんよ。それは自分でやるんですよ」というようなやり方。

どちらがいいかということは問題あります。が、そういうようにやつていると、自分のことは自分でしなければならないと分かる。そこに自主独立の精神といふものが出てくると思うんですね。

何でも「ああ、よしよし」と言つて取つてやる教育のしかたと、そういう教育をしている家庭と、どちらがいいか。

今、どちらをよしとしているか、私はよく知りませんが、私であるならばあとのはうがいい。そういうことをしなくては、子どもは健全に育つことができない



(松下幸之助・著『親として大切なこと』より)

前職で有料老人ホームの企画があり、準備に関わらせて頂きましたが、成立には至りませんでした。福祉大学を卒業してから、公立や医療法人の病院、特養、老健、デイなどに勤務しましたが、有料老人ホームなど民間企業が運営している介護施設での経験がありました。年齢的に考えてもおそらく最後の職場になりましたとき、有料老人ホームへ是非トライしてみたいと思い、さわやか俱楽部の扉を叩かせて頂きました。

私は「入居者様・利用者様と職員」という関係以前に、「人の人間と人間の関係があり、その上にたつて仕事をさせて頂いていると思っています。入居者様や利用者様から折に触れ笑顔を向けて頂き、「ありがとうございます」との言葉を返して頂いた時、心からこの仕事をしていて良かったと感じ、その瞬間に仕事をしていると言つても過言ではありません。営業においても、関係機関の担当者から紹介頂いた時に同じようなやりがい・喜びを感じます。共通して言えることは「信頼関係」です。信頼関係を構築し、それに応えて頂いた時に感じる喜びが、この仕事を続けてくるエネルギーです。

ド鳥羽、次が西京極、そして現在のいそだ館と、一年強で四施設に勤務させて頂きました。各施設から転勤する時には、入居者様や職員から本当にたくさんのお言葉や色紙などを頂きました。私自身はそれぞれの施設で多くのことを学ばさせて頂きましたが、十分な仕事や結果を残せた訳ではありません。そんな私に対しての皆様の思いやり、優しさが本当に嬉しくありがとうございました。

趣味は音楽、映画、読書、スーパー銭湯（サウナ・水風呂）です。福岡にはいいライブハウスがたくさんありますので、時間の余裕を作れるようになつてプライベートな時間も楽しみたい、と心から願っています。いそだ館に赴任して一ヶ月、施設長といふ業務も初めてで、エリアマネジャーや福岡エリアの施設長からいろいろ教えて頂きながらの毎日ですが、早く業務を覚えて、入居者様と接したり、営業に行く時間を増やしていくといつも考えていました。そしてさわやか俱楽部の理念を胸に刻み、入居者様、ご家族様、そして地域のために一生懸命頑張つてしまいりたいと思います。皆様の応援、宜しくお願ひ致します。



103歳のお誕生日に花美館の職員に囲まれて

う ど か つ よ し
お名前 鵜戸 勝芳様 明治42年11月28日生まれ／103歳

出身は宮崎県宮崎市です。父は大分県の佐伯で漁業をしていましたが、政府の人口政策で両親が過疎地だった宮崎の方へ移住し、そこで生まれ育ちました。小学校の頃から負けず嫌いな性格でした。大正11年に尋常小学校を卒業しましたが、家が貧しくて高等科には進めず就職しました。新聞社などで働きながらも勉強を続け、昭和10年に念願だった小学校の教員として採用されました。

昭和16年の9月に召集令状が来て、その年の12月に太平洋戦争が始まりました。私は南方地域へ行くことになり、マレー半島を南下して行く間に多くの仲間が戦死しました。私も当時は死を覚悟していました。戦地で出会った日高軍曹という上官は、私が教員をしていた小学校の教え子の父親で、「先生、息子がお世話になりました」と言ってはよく面倒を見てくれました。パプア・ニューギニア領のラバウルという所で私はマラリアにかかりました。ニューギニア作戦で私の中隊は全滅しましたが、私は病気で参加できなかったために命拾いしました。

終戦を迎えた時も戦地にいて、上空には敵の飛行機が飛んでいました。私は100名ほどの中隊の炊事の班長を任せられ、周りを警戒しながら野菜などを取りに行ったのを今でもよく覚えています。

この戦時中の体験は、帰還してから10冊くらいの本にまとめようと思っていましたが、小学校の教師として忙しく働いていたので、なか

なか進みませんでした。小学校を定年で退職した後も、中学校に講師として招かれたり、保育園の園長を務めたりしていました。平成2年、80歳の時によく過去の記憶や資料を元に「ラバウルの嵐（鉱脈社）」という一冊の本を出版できました。この本を含めて、これまで全部で三冊書いています。

昔は新聞記者をしていたこともあり、字を読むこと書くことが好きで、新聞は今でも毎朝読みます。日記も毎日つけていて、習字の指導もしていたことがあります。近所に住んでいた方からは、子供の名前を付けてほしいとよく頼まれて、これまで数十人の子供の命名をしました。

戦争に行ってもおかげさまで生きながらえたのは、神様のご加護があったからだと思っています。今でも毎朝神様にお祈りしている他、何か思い出すことがあるたびに感謝の気持ちで一日に何度も拝んでいます。私の母は106歳まで生きましたが、私は9人兄弟の中では一番の長寿です。健康面で気をついているのは、あまり食べすぎないということです。3食おかゆを食べていますが、特に夕食は軽くとるようにしています。昔は酒豪でよく焼酎を飲みましたが、今は口にしません。近くに住んでいる長男夫婦もよくしてくれています。私の命は天から授かったもので、天の命によって今も生かされていることに、日々感謝しています。



ご長男・康孝様のお話

漁師の家で育ち、小さい頃から魚ばかり食べていたのが、長寿と健康的の秘訣ではないでしょうか。昨年の2月に宮崎から北九州に移り、さわやか花美館に入居しましたが、医療と介護のサポートがしっかりしていて、私たちも安心しています。



昭和16年12月＝タイ国シンゴラに駐留時の写真(街の写真屋で)

※今回の取材にあたっては、鵜戸様のご長男・鵜戸康孝様ご夫妻に、資料提供や言葉の解説など、多大なるご協力を頂きました。ありがとうございました。



私の百年史

今月より、さわやか俱楽部の介護施設に入居されている100歳を超えるお客様を、毎月お一人様ずつこのコーナーで紹介させていただきます。記念すべき第一回目の登場は、さわやか花美館にお住いの鵜戸勝芳さま(103歳)です。

BEST
ベスト

日報賞コレだ!
素敵な日報の中から大発表

ウチヤマグループで働く皆さんの
日報をご紹介します。

「入居者様の過去も大切に」

さわやか

ヘルパーステーション西京極

京都府京都市

池田 美和さん



私が入社した頃から思っていましたが、ある男性の入居者様が、毎日事務所に同じ事を言ってこられます。最初は認知症が進んでいると聞いていたので、認知症だから…と思っていたが、その方は、他の入居者様にとても優しく、困っている人がいれば、いつも助け役にまわって下さいます。ずっと廊下におられる方を、居室まで付き添って案内したり、エレベーターで誘導したりと、自ら動いてくださいます。

そのお姿を見かけるたびに、どんなに認知症をもっていても、ご本人様の優しい性格は忘れないのだと改めて思いました。そして、自分もそうありたいと心から思いました。今も大切ですが、入居者様の過去も大切にして、お世話をさせて頂きたいと思います。

産んでくれて、
育ててくれて、ありがとう。

▶さわやか清風館／センター長・倉田昌俊さん

私の母は、2度流産を経験し、3度目の正直で私は生まれました。祖母としても、初孫だった為に大変かわいがってくれました。子供の頃はよくケガをして心配をかけていました。走行中の車から転げ落ちたり、車から撥ねられたりと、奇跡的に大けがをすることはませんでしたが、何時も心配ばかりをかけていましたね。

父親は出張で家を空ける事がとても多かったので、その間、母は私にさみしい思いをさせまいと、いつも近くで優しく育ててくれました。また、祖母の家に行くと祖母は毎回少ない年金からお小遣いとして、私と一つ下の弟にくれていましたが、私が、中学校へ入学する頃に事件が起きました。

祖母が行方不明になったのです。朝、母が祖母の家に行くと誰もおらず、その時は「出かけたのかな?」というだけだったのですが、夜になっても帰ってこなくて、小さな町は、消防隊や警察が出動するほどの騒ぎになりました。勿論、親も探しに行き、私は留守番をしていました。夜には近所や知らない方々まで心配で自宅に様子を聞きに来るほどでした。

翌朝、祖母は山で自らの命を絶っていたのを発見されました。後に聞いた話では、やや精神的に弱っていたということでした。厳しい年金暮らしで、貯金の残高もほとんど残っていないかったです。そんな状況でも私達兄弟が会いに行くたびに小遣いをくれていたことを、思い出して泣いたことも多々ありました。大好きな祖母が、鬱になってしまふことに気付けなかった悔しさから、中学生のころから福祉の仕事に就こうという強い意志を持ちました。

「お客様に喜んで頂ける様に」

コロッケ俱楽部 宮田店

福岡県宮若市

くにはる
國治 美穂さん



いつも9号室をご利用される常連のお客様が、本日は娘さんとお孫さんと3人で来店され、歩行器をお持ちになられていきました。

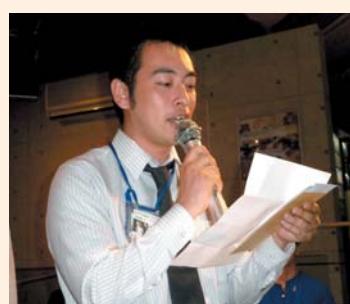
本日は平日で来店されるお客様が比較的少なく、昼間は店内も落ち着いていましたので、少人数でも広めのVIPルームにお通しした所、「広くていいね。明るいし綺麗だし、これから孫と一緒にこの部屋を利用させてね」と言っていただき、たいへん嬉しい気持ちになりました。今後もお客様に喜んで頂ける様に、常にその場の状況を判断して、お客様に合ったお部屋にお通しする様にていきたいと思います。

産んで育ててくれた両親へ
感謝の気持ちを込めて。



母に「福祉の世界に進むことを決めた。」と相談した時は、喜んで賛成してくれましたね。いつも母は、私が決めたことに何一つ文句を言わず、ずっと近くで見守ってくれ、高い入学金や授業料が必要な専門学校に行くと決まった際も、母は特別養護老人ホームで毎日私達家族の為に汗を流して働いてくれました。今でも本当に感謝しています。

家族の支えのおかげで無事に専門学校を卒業し、親元を離れて北九州に住み介護の現場に立った今でも、母からメールが届くと、家族はいつも繋がっていることを実感しています。母からのメールは一つ一つ大切に保存して、つらい時や思い悩んだ際に見返し、勇気をもらっています。私の大切な薬箱となっています。



お母さん、いつも心配ばかりかけていますが、本当にもう心配しなくて大丈夫ですよ。ウチヤマグループの一員となり、たくさんの素晴らしいご縁もあり、素晴らしい上司、温かい仲間が私には出来ました。3,600名を越える多くの仲間の支えがあり、一緒に頑張っています。まだまだ、親孝行らしいことは出来ていませんが、少しでも社会へ貢献できる人間へと成長する事で、両親やおばあちゃんへの恩返しが出来ればと考えています。

最後に、今まで照れくさくて面と向かって言ったことはありませんが、今日はしっかり伝えます。お母さん『産んでくれて本当にありがとう。』そして、おばあちゃん。『おばあちゃんの優しさは一生忘れません。』これからも優しく見守っていて下さい。

➡️酒蔵見学

父の日恒例行事！今代酒造様の酒蔵見学＆試飲会です！酒造りの話を熱心に耳を傾けます。写真は昔の自動販売機です。よく見ると50円！今でも実際に使用されている所もあるらしく現在は100円で販売しているそうです。

さて、いよいよお楽しみの試飲の時間です。酒は百薬の長。「毎日でも来て下さい」とのお話に、近いから歩いて通う事にしようか、とニンマリ。今代司酒造さま、本当にありがとうございました。見学の皆様、美酒に酔いしれていきました。そして、会話が弾んで笑顔の絶えない楽しい時間を過ごせました。(本間 博徳)



➡️さわやか倶楽部 徹底視察セミナー 御一同様来館!!



さわやかなかはる
レーカサイド中の原
福岡県北九州市



船井総合研究所の三浦康志先生主催「さわやか倶楽部徹底視察セミナー」に参加の御一同様が来館されました。今回は、デイサービスのレッドコードを使ってのリハビリの様子やご案内して頂いた2名の入居者様の居室内の雰囲気、フロアからの景色、厨房、養蜂、畑など施設の外観もゆっくりと見て頂きました。入居者様も名刺交換からはじまり、館内を嬉しそうにご案内して頂くことができました。

玄関前の自然が広がるスペースにて質疑応答があり、様々なご質問が飛び交い、視察にお越し頂いた皆様が非常に熱心に館内を見てくださっていたことを改めて感じ、とても恐縮いましたし、こちらも勉強になるご質問ばかりでした。遠方より来てください、本当にありがとうございました。(行徳 温子)

さわやか だより



各施設からのお便りを集めました！

➡️天高く響く 5月度誕生日会！

さわやか
かいきょうかん
海響館
福岡県北九州市



五月の誕生日会は、高稜高校の生徒さん達が勇ましい姿で、若松名物の五平太ばやしを披露して下さいました。威勢のいい掛け声と共に、屋上に太鼓の音が鳴り響くと、入居者の皆様も手拍子で参加して下さいます。

昔からの伝統を、若い魂がしっかりと受け継ぎ、五平太ばやしが奏でられます。入居者様も、懐かしんで一緒にばちを叩いて、演奏に参加されました。お天気も良く、済みきった青空に太鼓の音が響き、とても素敵な誕生日会となりました。(松本 佳苗)

➡️こやす保育園来館！

さわやか
くりのき
リバーサイト栗の木
新潟県新潟市

とっても元気いっぱいの園児たちがたくさん来て下さいました。げんこつ山のたぬきさんを歌いながらお遊戯。肩たたきもして頂きました。

帰りには園児たちにお土産を。またいつでも遊びに来て下さい。入居者様は最後まで手を振っていました。もっとたくさん遊びたいと言っていました。いつでも来館して下さい。(坂田 綾子)



■マグロ&カズコ!



さわやか
おおばたけかん
大富館
福岡県北九州市

大富館にて『運営懇談会』『5月度お誕生日会』そして『マグロの解体ショー』『KAZUKO歌謡ショー』が行われました!まずは、お誕生日会。スタッフからのささやかなプレゼントで喜ばれました。

さあ、鮪の登場!!あまりの大きさに、ビックリ。さばき始めた所で… KAZUKOさん登場!!鮮やかな包丁使い、美しい歌声にご入居者様もうつとり。次々とパック詰め。壮観です。鮪づくし出来上がり。ご入居者様もご一緒に歌われ、楽しまれました。大きなお頭にもビックリ。ご入居者様より、花束の贈呈です。「わしゃ、素晴らしい唄に鮪に最高じゃわい!!!」

とてもステキな一日となりました。鮪を準備してくれたボナーの皆さん、KAZUKOさん、ありがとうございます!(鬼松 卓司)



■慰問公演会!!

先日行われた「風さやか」様の慰問公演会&5月お誕生日会の模様をお届けします。なんとあの宝塚歌劇団の男役として活躍されていた風さやか様がここ住吉館に来てくださいました。

公演の内容もボリュームたっぷり。皆様の前で歌って踊って職員も一緒に、皆様もご一緒にお客様も気分も最高潮になり「よっ、さやかちゃん日本一」なんて合いの手も聞こえきました。

5月お誕生日のお客様も歌を熱唱。風さやかさんはお客様一人一人と目を合わせお話をしたり歌ったり、元・夕カラジエンヌのオーラを放ちつつも、物腰の柔らかな本当に美しい方でした。お客様も大満足といった様子です。最後は皆様で記念撮影。住吉館に楽しいひと時をプレゼントしてくださった風さや流の皆様、お忙しい中ありがとうございました。またお越しいただける日を楽しみに待っております。(柳澤 さおり)



さわやか
すみよしかん
住吉館
大阪府大阪市

■うどんを作ろ~!!



さわやか
すずめのみや
福岡県宇都宮市

今回ご紹介させて頂くのは『第二回すずめ料理教室』です。最近では、この料理教室にて「麺」を扱う料理が流行っておりまして、先月は蕎麦を皆でこねるところから延ばすところまで行き、皆様からも大好評でした。

なので今月は『うどん』を作ることにしました。御家族様も参加してくれました。「うどん」は昔から皆様よく作ってたという事で、懐かし料理のような感じになりました。粉をこねてこねて、昔レストラン勤務をされておられた方や、お店をやられてあった方もおられ、とてもお上手でした。こねた物を今度はコシが出るように『ヨイショヨイショ』と、普段のリハビリの力を発揮する場面がやってきました。そしたら今度は延ばしていきましょう。見事に伸びてます。次は同じ幅でカットしていきます。これがなかなか難しいのですが、見事に均等に、丁度いい感じでカットできています。素晴らしい出来栄えです。(原野 聖士)



■職員会議

グループホーム
ひかり
福岡県北九州市



本日のさわやか螢風館とグループホームひかり合同の職員会議には、本社より山本専務、徳田エリアマネージャー、山本さん、さわやか新門司館より井上施設長、三原主任が参加して下さいました。

会議後、職員集合写真の参加や本日より開催のあじさい祭りの会場となっている5階ベランダを見学されたり、さわやか螢風館の取り組みを色々と知って頂く良い機会となりました。

各施設で行っている独自の取り組みなど情報交換し、お互いの良い所を取り入れていく場としても職員会議は重要なものだと改めて感じました。次回、こちらからも新門司館の職員会議に参加させて頂き、同グループ施設の良い部分を自施設に持って帰りたいと思います。(掛田 俊晴)



ウチヤマホールディングス決算説明会

(株)ウチヤマホールディングスの決算が5月10日に開示され、6月4日には機関投資家・アナリスト向けの決算説明会が、東京にある大和証券グループの本社ビルにて行われました。当社からは内山社長、生嶋専務、吉岡部長、中村室長代理が参加し、42名の出席者の方々に向けて資料を示しながら、平成25年3月期の決算内容を説明しました。今後は、個人投資家向けの会社説明会が各地で予定されている他、6月27日には、株主の方々をお招きしての株主総会が、北九州市のステーションホテル小倉にて行われます。



ソフトバンクニュース

NEW DEBUT.

みなさんこんにちは。皆様お元気にお過ごしのことと思います。ソフトバンク香春口店も、アジサイの様に笑顔で元気にお客様の笑顔の為に営業させて頂いております。

今月の新商品の発売のお知らせです

大きな画面なのに片手でも操作がしやすいコンパクトサイズの4Gスマートフォン「アクオスフォンSS(205SH)」です。テレビはもちろん、超高画質カメラや赤外線通信など、充実機能満載の1台です。特に女性の方には使いやすいサイズです。今年の夏の思い出作りを、新しいスマートフォンで始めてみませんか。スタッフ一同心よりご来店お待ち致しております。(谷口 清流)



充実機能×手のひらにおさまる
コンパクトスマホ

AQUOS PHONE SS
SoftBank 205SH

SoftBank ソフトバンク 香春口店

福岡県北九州市小倉北区江南町3-1 内山第27ビル1F

お気軽にお電話ください

Tel.093-951-3266 【営業時間】
10:00~19:00

ハートピア明礬& 別府の里 Summer Plan!

「さわやか別府の里」、「さわやかハートピア明礬」は、いずれも別府八湯という別府の有名な温泉地にあります。

さわやか別府の里は堀田(ほりた)温泉にあり、別府インターよりお車で1分の場所にある全館バリアフリーの宿です。客室は洋室が中心で、半露天風呂付きのお部屋が20室あります。泉質は女性に嬉しい「美白の湯」といわれる炭酸水素塩泉で、お肌によい温泉です。個室でも男女別の大浴場でもお楽しみいただけます。

さわやかハートピア明礬は奥別府明礬(みょうばん)温泉にあり、周りを自然に囲まれ、時間を忘れてゆっくりできる宿となっています。客室は和室中心で20室あります。温泉も2種類あり、別府の里と同じ炭酸水素塩泉と明礬温泉特有の「硫黄泉」があります。特に硫黄泉は多くの方にご支持を頂いています。館内の 大浴場は炭酸水素塩泉が男女別にあり、館外にある『森の岩風呂』は硫黄泉が男女別に各1つと家族湯(貸切湯)1つ、炭酸水素塩泉の家族湯が1つあり、宿泊のお客様は家族湯が無料でお楽しみいただけます。



6月は梅雨で外出しにくい時期ですが、この時期しか見れないものもあります。

かぐらめこ 神楽女湖の花菖蒲

80種類の約1万5千株の花菖蒲が湖面を淡い紫色に染め上げます。7月7日までが観賞期間となっています。ハートピア明礬よりお車で約25分、別府の里より約20分です。

この6月より夏メニューをご用意した夏プランを別府の里、ハートピア明礬でご用意しています。それぞれ特色をもった宿できっとみなさまにご満足いただけます。皆様のご来館心よりお待ち致しております。(川田務)

明礬温泉
さわやかハートピア明礬

別府堀田温泉
さわやか別府の里

大分県別府市大字鶴見1190番地の1
ホームページ www.sawayaka-hotel.jp

Tel.0977-66-1321

大分県別府市堀田4-2(堀田温泉)
ホームページ www.sawayaka-hotel.jp

Tel.0977-26-1117

思ひやりの心を忘れずに

Message From President

ウチヤマグループ代表／内山文治

私は年に数回、視察や研修を兼ねて海外旅行に行きますが、日本と西欧諸国で一番大きく違う点は、障害者や高齢者など、社会的弱者に対する優しさです。先日も、そのことを思い知らされる残念な出来事をニュースで知りました。

ベストセラー「五体不満足」で知られる作家の乙武洋匡さんは、生まれつき両手と両足がないという障害を持つています。昨年、ウチヤマグループの特別講演会に講師としてお招きした際は、電動の車イスで登壇され多くのお客様に元気を与えていただきました。その乙武さんが、東京の銀座にあるイタリアンレストランを予約して訪れた際に、事件が起きました。そのレストランは雑居ビルの二階に入っていて、エレベーターが一階には止まりませんでした。乙武さんがビルの前で店に電話で連絡を入れ、二階までの移動介助をお願いすると、店主から「忙しいから無理」と断られたそうです。さらに「車いすなら、事前に言っておくのが常識だ」「ほかのお客様の迷惑になる」と言われて、結局入店すらできなかつたことがツイッターで明かされたことで、大きな反響を呼びました。乙武さんと店主はネット上で和解しましたが、当事者をよそに波紋は広がっていき、国会でも取り上げられるという事態にまで発展しました。

乙武さんの例に限らず、障害を持つ人や困っている人に對して、思いやりの心が欠けているという光景を目にする」と、日本では度々あります。以前は香港の空港で出発を待っていた際、修学旅行らしい日本の高校生の団体に遭遇しました。その高校生の列に、車いすに乗った高齢者が近づいていきますが、誰一人として通路を開けようとしません。引率の先生もついていますが、気付いてさえいないのか何も注意をしませんでした。最初は黙つて様子を見ていた私も、ついに見兼ねて通路を開けるように注意したのですが、同じ日本人として恥ずかしいような情けない気持ちになつたのを、今でもよく覚えています。

日常の生活においても、日本では混んでいる電車に車いすの人やベビーカーを抱えた母親が乗つてくると、周囲からはあまり歓迎されず、あからさまに迷惑そうな顔をする人もいます。社会的な弱者に対する思いやりの

心、優しさに欠けているせいか、いざ実生活の中で困つた人に出会つた時に、自然と手助けする習慣が身についていないのです。

西欧諸国においては、ノーマライゼーション、すなわち高齢者や障害者などを施設に隔離せず、健常者と一緒に助け合いながら暮りしていくのが正常な社会のあり方とする考えが浸透しているので、手助けが必要な人を見かけたら、多くの人が進んで介助します。アメリカやイギリス、オーストラリアでは、障害者に対する差別を禁止する法律があり、障害を理由に差別することは社会的にも許されないとされています。私自身、アメリカやヨーロッパを訪れたことがあります。電車内にベビーカーを母親が持ち込んで、誰も迷惑な顔をせず、赤ちゃんに微笑みかけたりベビーカーを運ぶのを手伝つたりするのが普通です。

日本ではバリアフリーに関する法律はありますが、ハード面をいくら整備しても、社会的弱者に對して支える気持ちが育まれなければ、本当の意味でのノーマライゼーションは実現されません。例えば足の不自由な方が駅の階段を昇り降りする際、手伝おうとする人が少ないために、駅員や昇降機で対応しているというのが今の日本の現状です。障害者を取り巻く私たち健常者が、温かい気持ちでサポートできる社会づくりの必要性を強く感じています。

私たちは、健康な体に生まれ、不自由なく過ごせる」と、対して、日本とくらべて、社会的弱者に対する差別が根強く残っています。世の中には、生まれつき目が見えなかつたり、あるいは不慮の事故で体を自由に動かせなくなつたりして、ハンディを背負つて生きている人もたくさんいます。また、体が思うように動かない高齢者や妊婦、小さい赤ちゃんを連れた母親などは、少しの外出をするにも、人知れず苦労をしています。信号を渡るときにそつと手を差し伸べたり、階段を上る時に重い荷物を持ってあげたり、笑顔で赤ちゃんに「かわいいね」と語りかけてあげるだけでも、どれだけ救いになるかわかりません。特に高齢者介護や飲食店、カラオケ店など、サービス業に携わるウチヤマグループの仲間には、いつでも困つている方に対しても、相手のことを思いやつて優しく手を差し伸べる気持ちの余裕を持つてい

て欲しいと願っています。

そんな中、先日はうれしい出来事がありました。日曜日に本社で会議の資料を作っていたときのことです。さわやか相談室に、一本の電話が入りました。職員から何か困ったこととの相談かと思つて出てみると、相手は「さわやか螢風(けいふう)館」で働いている白石さんという職員のお母様からでした。白石さんは、障害を持つていて、働きたくてもなかなか受け入れてくれるところもなかつたところ、縁あつてさわやか俱楽部の障害者雇用の枠で採用になりました。螢風館で仕事を始めてからは、娘さんがとても明るくなつたそうです。職場でのことも色々と話してくれるそうで、職場の仲間が優しく接してくれること、多くの人と関わりを持つて働くこと」に感謝の言葉を頂きました。

また、白石さんの父方の祖母は、他社の運営するグループホームに入居されていましたが、日中・夜間と不穏で落ち着きのない行動が目立つため、その施設では対応が難しいと言われていました。そこで白石さんのお母様は、娘が働いている螢風館の柿木副施設長に相談したところ、六月一日に開所する「さわやかグループホームせいのう」をすぐに紹介してくれ、開所したその日に入居することができたそうです。入居の際には職員が進んで荷物の運搬も手伝ってくれ、「ここのなら義母を安心して任せられる」と改めてお礼を言わされました。

白石さんのお母様は、社員の家族に毎月送つている「社内報「ウチヤマタイムズ」にも毎月目を通され、社長である私の考え方や会社の動きを知ることができて嬉しいといつ言葉もいたしました。お話をしていく中で、白石さんは本社で秘書を務めている小橋さんの中学時代の同級生とも分かり、その不思議な縁にお母様も驚いていらっしゃいました。私はつくづく、神様がめぐり合わせてくれた必然の出会いだったと思いました。そして、元気に働いてくれている白石さんと、彼女を温かく迎え入れてくれた螢風館の職員、そしてお母様の相談にいち早く対応してくれた柿木副施設長やグループホームせいのうの職員に感謝しました。

良い行いをすれば、それは必ず自分に返ります。お金は大切ですが、私たちはお金だけのために仕事をしているではありません。お金はやがて無くなります、「ありがとう」と感謝されたことは、その人の心に一生残ります。私たちが

日々触れ合うお客様やそのご家族、ともに働いている仲間や地域の方々、そして株主になつてくれている方々など、多くの人から「ありがとう」という言葉をたくさん頂けるよう、心を込めた仕事を行いましょう。そして素晴らしい仲間と理念を共有し、協力し合つことで、社会貢献できる組織と一緒に育てていきましょう。



「幸福になる

「脳の使い方」

平成二十五年五月七日、第十八回のウチヤマグループ特別講演会として、脳科学者の茂木健一郎氏をお招きして、幸福になる「脳の使い方」というテーマで講義をして頂きました。テレビや新聞、雑誌などでおなじみの茂木先生といつことで前評判も高く、開催前から多くの問い合わせ、申し込みを頂き、当日は一五〇〇席用意した椅子が足りずに立ち見が出る程、多数のお客様が来場されました。

茂木先生は母親が小倉南区の曾根出身なので幼いころは長期休みのたびに小倉へ来られたそうです。私達に馴染みの深い地名や地域性が冒頭からたくさん出てきて、最初から皆一気に話に引き込まれたような雰囲気でした。色々な例えを用いながら、幸福になる脳の使い方を説明して下さり、来場された方は非常に分かりやすい講演会だつたと大満足でした。

茂木先生の講演を聞いて、幸福に生きる為にはいかにストレスを回避するかが大切であると改めて感じました。隣の芝生は青く見えるものですが、周囲の人に対して「あの人の方が給料が高い」とか「あの人は美人でスタイルもいい」というような劣等感を常に感じている人が多いのではないかでしょうか。自分が幸せであるということに基準を設けようとすれば、どうしても人の比較になつてしまします。そして、多くの人が陥りがちな思考回路が「この条件が満たされ

ないと、私は幸せになれない」という行き詰りです。それは「結婚」であつたり「就職」であつたり、「学歴」「生活環境」「人間関係」等、人によって様々ですが、ここで問題なのは、自分に不足しているものに焦点を合わせ過ぎているということです。茂木先生は著書「幸福になる『脳の使い方』」の中で、「本当の幸せは、その人の人生をつくりあげている様々な要素が絡み合った結果の総合点で判断されるのに、このシンプルな法則を知っている人が少ないのは残念なことです。」と述べられています。正にそのとおりであると思われます。全てが完璧に揃つた人生などあるはずもなく、今の人生をいかに幸せに思うかという心の在り方こそが大切です。私は研修や视察で世界各国を訪れる中で、厳しい貧困に直面している地域に行く機会も多いですが、貧しいながらも現地でキラキラと輝いた子どもの目や、生き生きと働く若者の姿を見ます。逆に何一つ生活に困っていないくとも暗い顔をしている日本人を思うと、本当の幸せは経済力ではなく、手に入らないことがよくわかります。

講演会の中で、アメリカの大リーグで活躍するイチロー選手の話も教えて頂きました。イチロー選手はシーズン最多安打記録や十年連続二〇〇安打などの多数の記録を達成していますが、自身の目標は「年間二〇〇安打を達成する」というように常にシンプルです。彼は、「首位打者になる」「盗塁数トップを取り」というような目標を立てません。なぜならば、このような目標は他者との比較によって決まる結果であり、自分自身の力でコントロールできないからです。」のような目標を意識すると、自分で満足のいくプレーができるいても、他者の数字が気になり、ストレスになってしまいます。」のように目標の設定の

仕方一つとっても、イチロー選手といつ成功者が「幸福になる脳の使い方」を実践していることがよく分かります。

茂木先生は特別講演会の後、アサノパティオでの食事会にも参加して頂きましたが、その際に私達ウチヤマグループに対するエールも頂きました。幼いころから思い入れのある北九州市がもつと元気になつて欲しい、そしてウチヤマグループがその原動力となつて欲しい、と熱い言葉を頂きました。ウチヤマホールディングスがジャスマダック市場に上場して一年以上が経ちます。たいへん多くの方に支えて頂き、お陰で順調に業績も伸びています。周りの人たちから期待して頂いていることに改めて感謝し、全社員一丸となつて未来を切り開いていきましょう。



今月のオススメ図書

1 心は変えられる～稻盛和夫流・意識改革～
[原 英次郎]

2 医者に殺されない47の心得
[近藤 誠]

3 生きる姿勢
[曾野 純子]

4 時間に支配されない人生
[ジョン・キム]

推薦本

心は
変えられる

原 英次郎



5 瓦礫(がれき)の中の幸福論
[渡辺 淳一]

6 异る男の条件、沈む男の傾向
[竹由 喜美子]

7 親として大切なこと
[松下 幸之助]

8 また、あした。
[堀江 幸子]



9 うまれてきててくれてありがとう
[にしもと よう／黒井 健]

10 三びきのやぎのがらがらどん
[マーシャ・ブラウン 絵]

おたより 紹介!



✉ さわやかいずみ館

いろんな施設がある中、何を目安に入居を決めたか。私の場合は玄関から入ってきた時、廊下ですれ違う時など、誰ということなくスタッフの方々が笑顔で声をかけられていたこと、また事務所のドアが常に開いていて、誰でもいつでも入って行けるし、事務所の方々とも気軽に話ができる、閉鎖的でないのがいいなと思ったからでした。

入居後の母は、スタッフの方々の手厚い介護のおかげで、一応生活には慣れてきたようになりますが、精神的にはまだ不安定のようです。そんな時、一緒にお茶を飲み話し相手になっていただいたとか、本人も喜んでいました。施設全体に暗さがなく明るいのは、やはりスタッフの方々の笑顔と声かけだと改めて感じています。また、それらの教育が行き届いているのがすごいと思います。ホームページがあるのも離れた家族にとって嬉しいものです。楽しみに見させてもらっています。(福岡県うきは市・香月様より)

✉ さわやかすずめのみや

母がお世話になって半年以上経ちます。施設長、介護担当の長澤さんは本当によく世話をしています。施設長はオーケストラで言うと指揮者、原野さんは若くパワーリティがあって、皆様の範となっているように思えます。

私は趣味で写真撮影を行っています。施設のどこかに展示させて頂けないかと自分の作品をサンプルのつもりで持参しましたが、原野さんが即決で「飾らせて下さい」と受け取られました。本部に聞いてみますということもなく、決断が速いと思いました。これからも母親のお世話を宜しくお願いします。(千葉県白井市・高岡様より)

✉ コロッケ倶楽部 久留米合川店

接客態度が本当に最高です。私たちは2人とも71歳ですが、平川さんははじめスタッフの皆さんは心配りが良いですね。毎回BOXランチでの利用です。食事もいろいろ頂きますが、本当に美味しく頂いております。友人は病気を持っていますが、それにも気を遣って頂いて嬉しいばかりです。

(佐賀県鳥栖市・齊藤様より)

✉ コロッケ倶楽部 久留米津福店

ひらかわさんは接客がサイコー!思いやがすごくあって、また来たいと思えます。今日は母の誕生日で来ました。前回は叔母の誕生日で来たのですが、その時のことを覚えてくれていたみたいで、素敵なメッセージを頂いて本当に嬉しかったし、びっくりしました。こんな最高なプレゼントはないです。素敵なスタッフが居ていいです!(福岡県福岡市・戸尾様より)

結婚&出産特集

Happy Wedding and Baby

Congratulations
on marriage!



鈴木 佑さん & 友里奈さん



5月6日に入籍しました。さわやか倶楽部に入社して1年が経ちました。仕事と私生活、色々な人に支えられた1年です。まだまだ周囲に助けてもらう事も多いですが、今後、私生活においては二人で支え合い、助け合って家庭をつくっていきます。皆様、あたたかく見守って下さい。

さわやか日の出館／介護職員・鈴木 佑



板井 遥海くん

平成24年10月24日生まれ

Welcome, Little Prince & Princess!



無事に誕生してくれてありがとうございます。かわいい姿と元気な産声で、父親になったんだなあと実感がわいてきました。妻と子のためにもこれからもがんばっていきます。はるかくん、よろしくね。

はるかくんのパパ
さわやか日の出館／介護職員・板井 俊英



天願 雅美ちゃん & 久華ちゃん

平成25年3月25日生まれ

美しい華のような姉妹になって欲しいと想いを込めて名付けました。入社し間もない一年目の私です。子供も産まれて間もない一年目。妻と4人で共に成長していきます。これからも宜しくお願い致します。

みやびちゃん & くうかちゃんのパパ
コロッケ倶楽部北谷店／天願 雅之



今月のスナップショット!

さわやかむなかたのもり



「さわやかむなかたのもり」にご入居のなかよし3人娘、左から中野様、片山様、園元様です。園元様は5月に行われたさわやか倶楽部の職員誕生日会＆新人歓迎会にご夫婦で参加されました。内山社長からサプライズで花束を渡され、お声かけと思いやりに感激されていました。ご自宅へお送りした際には、「今日は久しぶりにお酒も飲んで楽しかった」とご主人が満面の笑みで仰っていました。(センター長・古賀美代子)



さわやか相談室

お気軽にどんなことでもご相談ください。お電話、メールお待ちしております!

電話番号

メール

090-9497-5764

sawayakasoudan@softbank.ne.jp

一人で悩まないで!
あなたのお悩み
話してみませんか?

